

今号の内容

- 野方の暮らし-宅地化以前の鶴瀬-
- 凶録紹介「戦国の集落と領主」
- マジックハンドを作ろう
- 鷹場密漁事件
- 夏のイベント情報

野方の暮らし-宅地化以前の鶴瀬-

市民学芸員 いいの 飯野 ミネ子



牛蒡収穫の様子(水子地区・市史通史編下巻掲載)

富士見市域は大別すると、台地の^{のがた}「野方」、低地の^{きとがた}「里方」になります。私は鶴瀬駅から歩いて5分程の野方に生まれ育ちました。その頃、周りは畑ばかりでした。そこで子どもの頃(昭和30年代)の農家の暮らしの記憶を辿ってみます。

一つの畑で作物は穀類、豆、根菜、葉物その他多種あり一年中が繁忙期でした。

寒い時期はほうれん草。専用の台を使いワラで束ねたのですが、現在の袋入りより手が掛かっただけ見栄えが良かったように思います。

暖かくなるにつれ、夏野菜の種蒔き、植付け、除草に追われる日々、初夏には特産であった「入間牛蒡」の出荷があり、それは重労働でした。

いつ頃からか近在の畑に牛蒡を見かけなくなり寂しい思いでしたが、現在は青森県が産地のようです。

台地の為、水害の覚えはなく、晴天続きが気になる頃の雨で、各農家へ「湿り正月」という伝言があ

ると、畑仕事はせず貴重な休養日となりました。

夏休みは祖母の手伝いでお昼の支度。胡瓜は「葵の紋」にならぬよう斜め切り。祖母の内で「徳川様の紋」は生きていました。休みも終わる頃、諏訪神社の祭礼があります。この日は私達にとって特別でした。朝には赤飯や天ぷらを作り、他にもすいかを食べたり、お昼、夜には特別な日に食べるうどんも作りました。お祭りには、宿題を終えてないと連れて行ってもらえないので何とか済ませ、揃って出かけた夜はもう涼しくなっていました。

秋ともなると農作業のかたわら、蒲団を作り直したり、解いた着物の洗い張りをしたりしました。洗い張りの最後に板から布を剥がすのですが、これは快感でした。

いよいよ年の暮になると、^{すす}煤払いをして障子を張り替えて新年を迎えることになるのでした。

市民学芸員のページ *このページは市民学芸員が原稿を執筆、編集しました。

難波田城 ちょっと拝見 みどころ紹介

図録『戦国の集落と領主』

「戦国期に水子、鶴馬はどのような村落の形成がなされたか。さらにはどのような領主、民衆の暮らしがあったのか。」

この図録のテーマは私にとって、大変興味のある課題でした。用水、耕地、領主の支配下などに規定される村落。新田開発をしなれば、零細な生活から逃れることはできなかったでしょう。そして領主が変わる度に民衆は対策を講じなければならなかったのではと私は考えます。

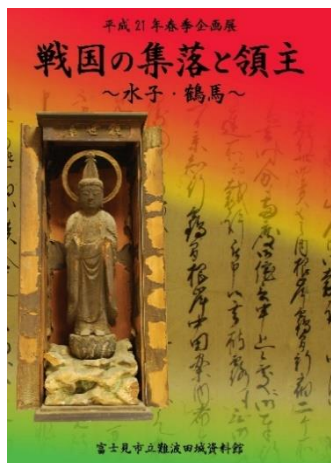
図録で村落は、川と道に沿って形成され、要所に宿(町場)が開かれ地域の活性につながったとされています。

また図録は5節から構成されていますが、私が目を引いたのは第5節の「中世の痕跡」でした。ここでは素焼きの皿である「かわらけ」が取り上げられており、難波田氏一族は扇谷上杉氏の家臣なので、かわらけもその特徴を持つと紹介されています。

私が主宰するサークル「富士見市古城をめぐる会」では、中世期の城館の形跡を辿る研修をしています。その際、候補地を決める目安の一つに「かわらけ」があります。かわらけは、居館跡から出土することが多く、原料の土・寸法・紋様・質感にそれぞれ特徴があります。戦国大名の勢力圏の目安にも言われています。地味な消耗品ですが、出土していると私は大変うれしくなります。

図録は古文書、古記録、考古遺物などの資料を基に述べられています。今後も発掘や発見により新たな事実が明らかになることに期待します。(世羅 陽一郎)

※本図録は完売のため、申し訳ありませんが現在購入することはできません。資料館、市の図書館などで閲覧可能です。

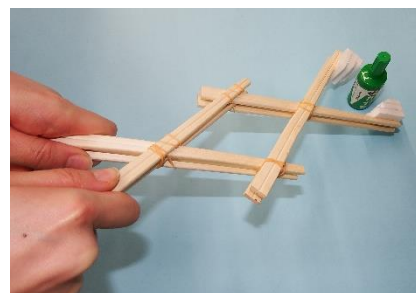


分を大幅に超えてしまいましたが、参加者の皆さんは嬉しそうに作品を持ち帰って行かれました。

2回目は、1回目に比べてスムーズに作業が進み、出来上がった「マイ・マジックハンド」でフィルムケースを持ち上げる練習を楽しむ余裕がありました。(小山内 鏗爾)



マジックハンドできるかな？



マジックハンド(完成品)

おもしろ・なつかし体験⑦

マジックハンドを作ろう

このコーナーは、難波田城公園での体験学習やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

ゴールデンウィーク前半3日目、5月1日(日)の「ちょこっと体験」は「マジックハンドを作ろう」でした。

「まん延防止等重点措置」が解除されたとはいえ、まだまだ油断がならないので、午後1時から30分刻みで4回に分けた定員入換制の開催でした。

事前に3組10人の予約が入っていましたが、当日に当番だった市民学芸員の呼びかけで、さらに10人の参加者が集まりました。

今回が初めての体験だったので、不揃いな割箸の組合せ方や支点到に巻くゴムの強さ加減など、体験して知るしかない繊細なバランス感覚を伝えるのが大変だったようです。

1回目の参加者全員が完成出来たのは、予定の30

人の創ったもの★人の使ったもの

鷹場密漁事件

富士見市域は延宝4年(1676)から慶応3年(1867)まで、一時期を除いて尾張徳川家の鷹場でした。藩主が鷹狩をしたほか、鷹匠^{たかじょう}などが鷹の訓練を行いました。また、鶴馬村と水子村には鷹場支配の拠点となる陣屋が置かれました。鷹場の村々は、獲物となる鳥が逃げるような行為は禁止され、村での日常生活にも影響を及ぼしました。

違法漁具の発見

引又川(新河岸川)は、尾張家の鷹場の中を流れていたために、鳥はもちろんのこと、魚を獲ることも禁止されていました。弘化2年(1845)1月1日の夜、水子村と下南畑村の間を流れる引又川に、漁で使う張り網5反と張り竹10本が仕掛けられていました。折々に廻村している水子陣屋の役人がこれらの品を見咎め、没収して封印の上、村に保管させました。その後、鷹場法度に違反して漁を行おうとした者がいないか、両村の村人に対して厳しい取調べが行われました。その結果、日頃から法度を堅く守り、これに背くような悪事をした者はいなかったため、夜中のことなので他の場所から入り込んだ者が行った可能性もあるだろう、ということになりました。

しかし、これで一件落着とはなりませんでした。

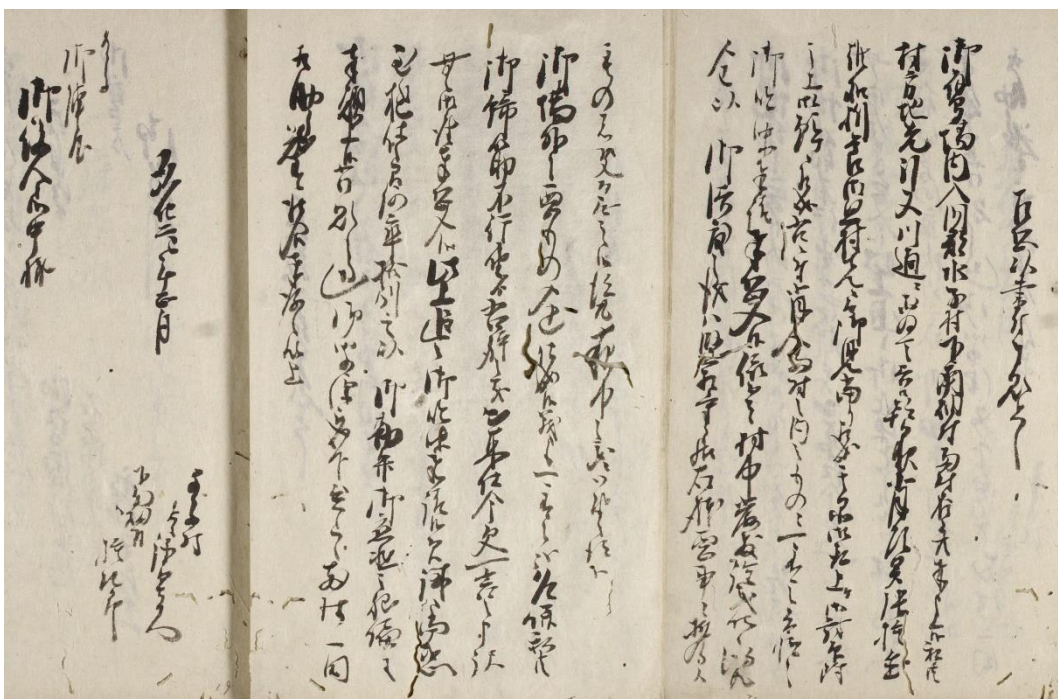
このコーナーでは、当館所蔵の資料や富士見市ゆかりの資料を紹介します。今ではあまり使われなくなったものからわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。

水子村と下南畑村は自分たちの取締りが不行き届きで、このような事態が起きた事を、今更ながら申し訳なく思い、恐れ入るとしてしています。さらに取り調べを受ける事に対して本当に困惑しており、格別の御慈悲をもって許してくれるように願っています。願ひ出の結果は記録されていませんが、これ以降に事件の記述がないことから、聞き届けられたと思われます。

村々に課せられた鷹場の管理

鷹場の村々には、鷹場法度とよばれる法令が出されていました。そこでは、鷹場内で鷹を使う者の監視、鳥獣の保護、道や橋の整備、冬季に田んぼに水を湛えることの禁止、鉄砲所持者の通報、預かった境杭・塚の管理などが課せられていました。

水子村と下南畑村が問題とされたのは鳥獣の保護に関することでした。無断で鳥などを捕獲しないのは勿論、それを行おうとする者の監視をしなければなりませんでした。例えば、違反する者がいれば、その者を村に留め置き、陣屋へ届け出なければなりませんでした。今回の事件では、村内から違反者がでなかったものの、村が届け出る前に役人が違法漁具を発見したため、鷹場管理の不行き届きを問題とされてしまったのです。(山野 健一)



弘化2年(1845)正月「新河岸川通殺生願書」新河岸川で見つかった網などの吟味を免除してくれるように、水子・下南畑両村の名主が水子陣屋へ願ひ出た文書(田中薫家文書3「願書并書御用向留帳」より)

* * 夏のイベント予定 * *

●マイミュージアム

「富士見市古城をめぐる会研修(城跡巡り)報告」

会期/8月2日(火)~8月28日(日)

会場/特別展示室

●じゃがいも掘り

とき/6月19日(日)午前10時、11時

※雨天時は6月26日(日)に延期

集合場所/旧金子家住宅前(畑は公園の隣です)

定員/各12組(申込順) 参加費/1組1000円

主催/難波田城公園活用推進協議会

申込み/6月4日(土)午前9時から電話で

●竹かご教室

「六ツ目かご」を作ります。

とき/6月26日(日)午前9時半~午後4時

会場/講座室 対象/中学生以上

定員/6人(申込順。応募多数の場合、初参加優先)

参加費/1000円

指導/資料館友の会竹かご部会

申込み/6月1日(水)~8日(水)午前9時から午後5時の間に電話で

●糸つむぎ(糸車)実演

とき/7月28日、8月4日、18日(いずれも木曜日)

午前10時~正午、午後1時~3時(1回20分程度)

会場/旧大澤家住宅

実演/資料館友の会木綿部会

●ふるさと体験「藍の生葉染め」

藍の葉で絹のストールを染めます。

とき/7月24日(日)午前9時30分~正午

※雨天の場合は31日(日)に延期

集合場所/旧金子家住宅

材料代/2000円

定員/6人(申込順、初参加優先)

指導/河野悦子氏(染色愛好家)

申込み/7月1日(金)~10日(日)午前9時から午後5時の間に電話で

●子ども裁縫教室

縫い物の基本を習い、作品を作ります。夏休みの宿題にも!

とき/8月3日(水)午前10時~午後2時

会場/講座室 対象/小学生~中学生

定員/12人(申込み順) 参加費/300円(材料代)

作品/いずれかを選択

きんちゃく袋、ショルダーバッグ(初心者向け)

ポケットバッグ、ペンケース(経験者向け)

指導/美楽の会

申込み/7月23日(土)までに電話で

●夏休み古民家宿泊体験

古民家に泊まって、昔の暮らしを体験しよう!

とき/8月6日(土)午後1時~7日(日)午後2時

内容/竹細工(コップや箸)、手打ちうどん作り、ごえもん風呂、七輪で焼き魚など

対象/市内在住の小学4~6年生

定員/8人 参加費/2000円(材料費・食費)

申し込み/往復はがきで

※詳細は広報富士見を御覧下さい

●早朝の蓮を見学できます

6月18日~7月9日の土曜日は、午前6時30分に開園します。開花状況はお問い合わせください。なお、資料館や古民家は午前9時開館です。

●ちよつ蔵市(難波田城公園活用推進協議会主催)

6月19日(日)ふかしいも(じゃがいも)雨天延期

7月、8月はお休みです。

◆田舎まんじゅう販売
第1、3日曜日10:30~
※8月はお休み

※各イベントの詳細は、広報富士見やポスター、チラシ、公式サイトなどでお確かめください。また、ここに掲載されたイベント等もコロナの感染状況などにより変更となる場合があります。最新の情報は資料館公式サイト(下記URL、QRコードよりアクセス可)をご覧ください。



富士見市立難波田城資料館

TEL. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1

https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi_shisetsu/02shisetsu/shiryokan/nanbatajo/index.html

◆休館日/月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始 開館時間/午前9時~午後5時

◇公園休園日/なし 開園時間/午前9時~午後6時(4月~9月) 午前9時~午後5時(10月~3月)

資料館公式サイト

